

<h1>そだて</h1> <p>第295号</p>	小千谷市 青少年育成センター	〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL <a href="http://www.city.ojiya.niigata.jp/">http://www.city.ojiya.niigata.jp/</a>
---------------------------	-------------------	---

## 常盤木落葉に思う

青少年育成センター所長 大野 滋

「常盤木落葉(ときわぎおちば、ときはぎおちば)」という季語があります。落ち葉という言葉が含まれていますが、初夏を表す季語とのことです。普通、落ち葉といえば晩秋から冬ですし、初夏は若葉の季節です。これは、どういうことなのでしょう。

常盤木とは、松や杉、檜、椿などの、四季を通じて緑色の葉をつけている常緑樹のことです。落葉樹は秋の終わりに一斉に葉を落としますが、常緑樹は冬の間も緑色の葉をつけたままです。

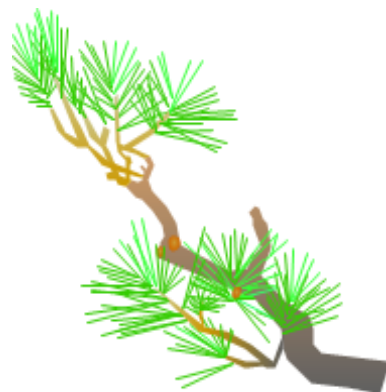
常緑樹は、ずっと同じ葉をつけているわけではありません。葉には寿命があり、日本の常緑樹の多くは、葉の寿命が2～3年だと言われています。初夏、新芽が萌えるのと引き換えに、寿命を迎えた古い葉を徐々に落としていきます。そのさまは一斉に葉を落とす落葉樹とは大きく異なり、人知れずにいつの間にか葉を落とし、生長しているのです。

それに対して、落葉樹は落葉だけではなく、芽吹きや紅葉などの明瞭な変化があり、その変わるさまは誰の目にもわかりやすいものです。

子どもたちの成長は、まるで常盤木落葉のように、少しずつ、そして確実に進んでいくものです。時には、落葉樹のような劇的な変化を見せることもあります。そのような成長には、皆が気づくことができますが、常緑樹のような変化には、なかなか気づくことができません。

私たちは、この日々の少しばかりの成長に目を向け、それを感じ取れる目や感性をもって、子どもたちを見つめていく存在でありたいものです。そして、その成長をともに喜び合い、支え合いながら、小千谷の子どもたちの成長を見守っていきたいものです。

令和6年度の青少年健全育成活動を、多くの委員の皆様から貴重な時間を差し繰って参加をしていただきました。委員の皆様からは、街頭声かけ活動を中心に行っていただき、挨拶等の声かけ数は500名を超え、充実した活動がうかがえました。活動後の感想には問題等はほとんどなく、小千谷市内がとても落ち着いた環境になっていることの表れだと考えております。参加いただいた委員の皆様には感謝申し上げますとともに、今後もお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



★令和6年度の青少年補導委員の皆さん、1年間の活動ありがとうございました。今年度はアンケートを取りませんでしたので、皆さんの感想を集約させていただき、今後の活動に活かしていければ、と思います。声かけ活動及び感想の提出、ありがとうございました。



### <令和6年度声かけ活動より皆さんの感想やご意見など>

- 子ども達は元気に挨拶をかえしてくれました。(同様10件)
- 気持ちよく挨拶を返してくれ礼儀正しい姿が印象的でした。
- 地域を歩いて見守ることで、新たな発見もあり有意義な時間となりました。(同様3件)
- この活動が小千谷の子ども達の健全な成長の一助となれば幸いです。
- 子どもを見かけたら、声をかけたりすることが大事だと思いました。
- 中学生から元気な挨拶が返ってきてよかった。皆、素直で安心しました。
- 声かけと腕章での徒歩は防犯になると思いました。(同様1件)
- 市民の方々の目に触れることで、このような取り組みをしていることが知られ、有意義であった。
- 学校近くのお宅から、「見守り隊、お疲れ様です。私も以前勤めました。」と声をかけて頂いた。嬉しい気分になりました。
- 見守り、見回りをしながら、様々な意見交換が出来てよかったです。
- 小千谷駅の駅員さんから、電車のマナーについてご指摘を頂きました。(降りる人を優先せず、駆け込む人がいる)
- ホントカ。の屋上は、夜間も自由に上がることができ、暗く死角も多いので危ないと感じました。また、子どもの集まりやすい要因が多数見受けられたので、巡回先として重要だと思いました。
- 自転車乗りの子ども達が3人ほどヘルメットを被っており、少しずつヘルメットの大切さが浸透してきたのかなと思いました。
- 雨が少し降る中、自転車で横断歩道を止まらず、乗ったまま走ってってしまう様子がありました。少し危険だなと思いました。
- 自転車に乗った高校生が後ろからきたのに気がつかずびっくりしました。
- 駅方向へ旭橋で音楽をかけながら自転車が通り過ぎ、危ないと感じました。



皆さんから様々な感想を頂き、ありがとうございました。実際に活動をやっていると、補導委員の皆さんからは、有意義であったとの声を頂きますが、この活動をもっと市民の皆さんに周知していければよかったと思いました。今後の活動に活かしてまいります。

## 令和6年度の活動報告

今年度の活動を報告します。皆様の温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

### □街頭声かけ活動

31名の補導委員の皆さんから34回巡回していただき、延べ534人の人たちに声をかけていただきました。また、育成センター指定の研修会にも5名の参加があり、好評を頂きました。

### □環境浄化パトロール

7月5日、10月11日の2回、文化スポーツ課の職員と共に、市内各所を巡回しました。目立った問題点もなく、小千谷の子ども達は良い子との声をたくさん頂きました。

### □おぢやまつり合同パトロール

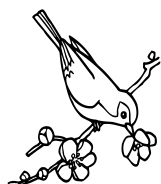
今回、補導委員さんの参加はありませんが、小千谷警察署、小千谷警察署少年ボランティア連絡会のみなさんと青少年育成センター職員、文化スポーツ課の課長補佐と巡回しました。

### □広報活動

機関紙「そだて」を年2回発行しました。小千谷市HPにも公開されていますので、大勢のみなさんから御覧いただきたいと思います。

### □相談活動

今年度1月末までの相談件数は17件の電話や面談相談がありました。相談員に話をすることで、気持ちが楽になったとおっしゃる方が多かったです。



◆保護者のみなさんからの相談も受け付けています。お子さんへの悩みや不安をお持ちの方がいらっしゃいましたら、「青少年育成センター」の相談窓口をご紹介しますとありがたいです。

青少年育成センター相談電話 0258-82-6771

小千谷市の子ども達の数が増え、また活動形態が以前と変化してきているためか、街中で子ども達を見かけないという現象が起きています。小千谷高校に至っては、市内の学生の数より市外の学生の方が多いという現象が見られます。しかし、「小千谷の子」として、どの子にも声をかけ、見守り育てていきたものです。この一年間、青少年育成センターへのご理解とご協力、ありがとうございました。

